

まちかどホットライン

11/1

高齢者叙勲「瑞宝双光章」受章 古屋 美勝 氏

古屋美勝さん（美祢市伊佐町）が、平成25年11月1日、高齢者叙勲「瑞宝双光章」を受章されました。

古屋さんは、昭和20年に公立学校の教諭として奉職され、40年6か月間にわたり、教諭、教頭、校長として学校教育の充実・発展に尽力され、永年の功績が認められたものです。

なお、叙勲を受章された記念に、美祢市の教育振興に役立ててほしいとのことで、美祢市に50万円を寄附されました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



11/11

県知事メッセージ伝達式

高齢者の交通事故防止県民運動（11月9日 土～15日 金）に合わせ、市役所で交通安全山口県対策協議会長（県知事）のメッセージ伝達式が行われました。

式では、美祢市交通安全母の会の石田美津枝会長が、高齢者の交通事故防止を積極的に進めるように求める県知事からのメッセージを読み上げ、村田市長に手渡しました。

石田会長は「悲惨な交通事故が起こらないよう、普段から事故防止を呼び掛けていきたい」と話していました。



11/16

三世代交流型交通安全教室

美東保健福祉センターで、三世代交流型交通安全教室「美祢市みんなの交通安全 in みとう」を開催しました。

これは、子ども、保護者、高齢者の三世代が、交流を深めながら交通ルールを学ぶことで、地域から交通事故をなくしていこうと、今年度、内閣府が全国8市町村で実施しているものです。

地域住民ら約150人が反射神経体験や飲酒体験ゴーグル、自転車シミュレーター、交通安全〇×クイズなどに参加し、交通マナーの大切さや事故の恐ろしさを再認識する一日となりました。



11/21

「産業観光まちづくり大賞」銀賞受賞

宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会（大林哲夫会長）が、去る11月21日 土、石川県小松市で開催された「全国産業観光フォーラムinこまつ」（全国産業観光推進協議会主催）の式典において、「産業観光まちづくり大賞」の銀賞を受賞されました。

「産業観光まちづくり大賞」とは、観光による地域振興の新しい手法として注目されている産業観光（産業遺産や現在稼働している産業施設などを活用した観光）による観光まちづくりを実践し、他の模範となる地域を表彰する制度で、平成19年度に創設されたものです。

今回の受賞は、広域連携での取り組みが高く評価され、同協議会が主催している宇部・美祢・山陽小野田産業観光バスツアーは、「CSR（企業の社会的責任）でまちが形成されている」ことに着目し、宇部興産など地元企業の協力のもと、工場見学や各企業や地域の歴史などを学びながら巡る「ストーリー性」を重視していることも評価されました。

協議会は、第1回の特別賞に続いての受賞で、2度の受賞は全国初となります。



11/21

山口県農山村振興賞受賞

山口県庁において、平成25年度山口県農山村振興賞表彰式が開催され、市からは、農事組合法人ファーム岩波と花かごグループが受賞されました。

ファーム岩波は排水困難なほ場において、飼料用イネの栽培によって生産調整と収益確保が両立できることを実証し、地域の他の法人のモデルとなっていることが評価されました。

花かごグループは地区住民の利便性確保のため店舗経営に果敢に取り組み、コミュニティビジネスとして定着させ地域づくりに貢献していることが評価されました。

また、同日、指導農業士・農家生活改善士の認定式も行われ、岡村幹夫さん、梶岡秀吉さん、大橋つや子さんが認定されました。



左から梶岡秀吉さん、岡村幹夫さん、大橋つや子さん、花かごグループ代表 梶山扶美子さん、ファーム岩波代表 倉増 知さん

11/22

文部科学大臣表彰受賞

毎年文化功労に功績を挙げられた方々に対して表彰される文部科学大臣表彰を、11月11日圓に別府念仏踊保存会が受賞されました。

別府念仏踊保存会は、永年にわたり、山口県指定無形民俗文化財「別府念仏踊」の保存と継承に尽力されました。今回は、地域文化の振興に尽力し顕著な功績を上げられたことを認められての受賞となります。

11月22日圓に別府念仏踊保存会の会長と事務局が来庁され、村田市長に受賞を報告されました。



11/27

山口ヤクルト販売（株）から寄附金をいただきました

山口ヤクルト販売（株）の野中富成社長ほか5人が来庁され、美祢市に70,000円を寄附されました。

山口ヤクルト販売（株）からは、美祢市の「緑のカーテン」事業支援を目的に2010年から毎年寄付をいただいています。



11/28

美祢市真名地域振興MS発電所 —美祢市進出協定調印式—

広島市の（株）ウエストエネルギーソリューションがこの度、美東町真名・綾木にメガソーラー発電所を建設することになり、調印式が行われました。

メガソーラーが建設されるのは旧美東町真名公共残土処分場跡地の内約4万4千㎡の敷地で、一般家庭600世帯分に相当する約2MWhの発電量が見込まれています。

発電した電気は中国電力に全量売電され、2月の下旬から20年間行われる計画になっています。



表紙の説明

12月1日、マツダ(株)美祢自動車試験場にて、第6回美祢市駅伝競走大会が開催されました。当日は一時的に天候が崩れ、雨が降る場面もありましたが、珍しい試験場のテストコースを参加者の皆さんは全力疾走されていました。

また、沿道からはランナーへたくさんの声援が投げかけられていました。

